

水害対策

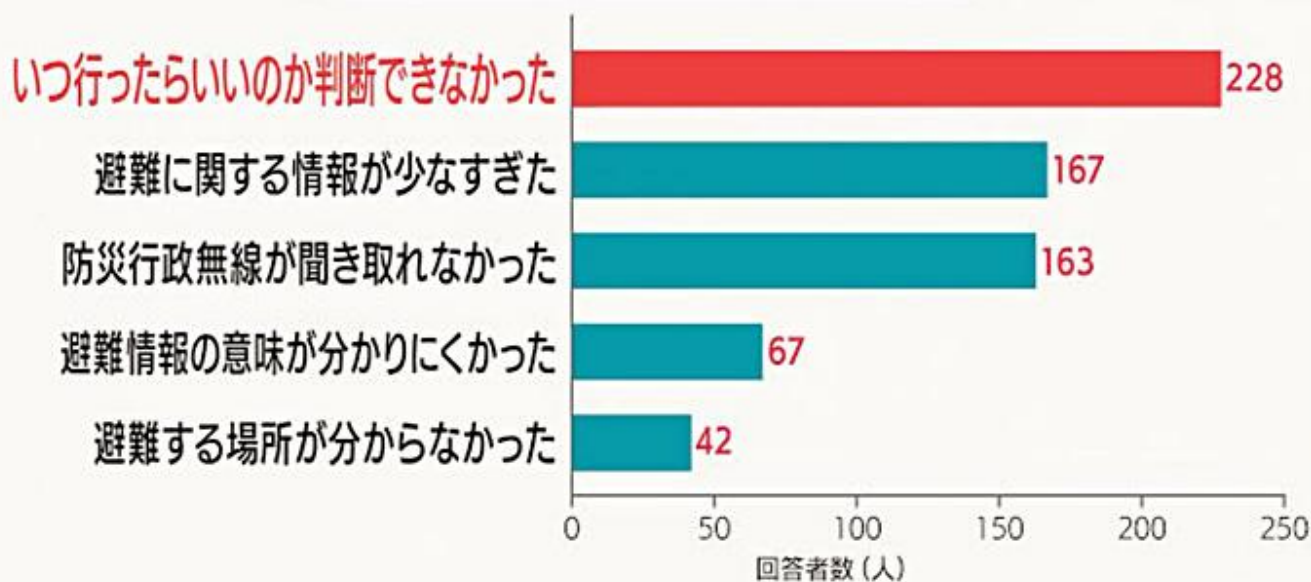


あなたはスイッチをいつ押す？

『せっかく万全に備えたのにタイミングが判らない』

H30年7月 西日本豪雨の被災者に対するアンケートの結果、
最も多かった回答は「避難をいつ行ったらいいか判断できなかった」です。

避難に関して困ったこと



愛媛県 平成30年7月豪雨災害対応検証委員会の調査より

NHK「明日をまもるナビ」より引用

欲しいのは 一生懸命用意した

一切

「防災用品」も「BCP」も「災害知識」も無駄にしない

水害を回避する行動を開始するためのスイッチ

現場でも遠隔地にも

増水を検知

発報

現場では音や光で、遠隔地にはメール(LTE)で、浸水を知らせる。
また警備会社の警報システムに接続も可能。

 発報が行動開始のスイッチに 

止水措置

土のう
止水板 } 設置

避難行動

非常持出袋
マイ・タイムライン

BCP発動

役割分担
マニュアル作成

実質的な水の到来による発報のため、“空振り”はありません。

浸水警報システム



マンションAの場合

屋外（敷地内）に
冠水センサーを設置

建物内への浸水を警戒



音声スピーカー



冠水センサー

マンションBの場合

地下ピットに冠水
センサーを設置

地下区画所有者にはメール伝達

発報の際、立駐を
上げる作業実施を
ルール化している



掘り下げ式立体駐車場




冠水センサーを
地下ピットに設置



音声スピーカー付回転灯と
メールでお知らせ

「ものづくり」でこれからの防災を考える

 株式会社 ユニメーションシステム

〒235-0007

神奈川県横浜市磯子区西町1-1-8 根岸駅前ビル 2-G

電話：045-751-5755

ユニメーション

検索

<https://unimation.co.jp/>

